

産業経営研究 — 第40号 —

— 2021.3 —

ディスクロージャーはインサイダーの利益を減少させるか？ 小谷 学	1
知識文化コンテンツ産業の構造と生態系に関する考察 朴 哲 洙	15
文化経済政策と社会的金融に関する考察 — 知識コンテンツ・コモンズ・フレームワーク — 朴 哲 洙	33
熊本地震後のBCP策定動向とその課題克服にむけて — LCP/BCP/CCP構想 — 吉川 晃史 渡邊 敬二	53
(研究ノート) 昭和恐慌期における電気供給事業経営のパフォーマンス比較 — 関西の電鉄と小売電力企業をめぐって — 嶋 理人	69
研究所活動	83

熊本学園大学附属産業経営研究所

研究所活動（令和2年4月～令和3年3月）

令和2年4月1日 小葉 武史（熊本学園大学経済学部教授）所長就任

8月22日～令和3年3月12日

熊本県からの委託事業として熊本イノベーションスクール次代舎を開催

会 場：熊本学園大学（第2回・第3回・第4回・第5回・第6回・第8回・
第9回（1/6）・第12回）

びぶれすイノベーションスタジオ（第1回・第7回・第10回）

※第9回（1/26）・第11回はオンライン開催

講座内容

- 第1回 プレ・セッション（8月22日・23日）
講 師：田村 大 氏・早嶋 聡史 氏・原 秀治 氏
- 第2回（9月10日・25日）
テーマ：「組織マネジメント」
「演習（リーダーシップと組織運営）」
講 師：松尾 健治 氏（熊本学園大学商学部准教授）
- 第3回（9月19日・20日）
テーマ：「事業創造ワークショップ①・②」
講 師：山口 高弘 氏（GOB インキュベーション・パートナーズ代表）
- 第4回（10月16日・17日）
テーマ：「コロナ禍のデジタル変革を一緒に考えよう」
「演習（デジタル変革演習）」
講 師：栄藤 稔 氏（大阪大学先導的学際研究機構教授）
- 第5回（10月19日・26日）
テーマ：「サプライチェーンマネジメント（SCMにおける在庫管理）」
「演習（モノの流れと業務の見直し）」
講 師：伊津野 範博 氏（熊本学園大学商学部教授）
- 第6回（11月6日・20日）
テーマ：「マーケティング戦略」
「演習（マーケティング戦略づくり）」
講 師：丸山 泰 氏（熊本県立大学地域連携・研究推進センター長）
- 第7回（11月28日）
テーマ：中間報告会
- 第8回（12月11日・21日）
テーマ：「財務会計・ファイナンス戦略」
「講義（財務諸表からビジネス・モデルを変える）」（オンデマンド）
「演習（最終報告に向けて）」
講 師：吉川 晃史 氏（関西学院大学商学部准教授）

- 第9回（1月6日・26日）
 テーマ：「管理会計」
 「講義（事業モデルの利益計画の実践）」（オンデマンド）
 「演習（最終報告に向けて）」
 講 師：飛田 努 氏（福岡大学商学部准教授）
- 第10回（1月9日）
 テーマ：「ファミリービジネス・演習（事業継承時の課題と克服）」
 講 師：武井 一喜 氏（Well Spring 代表）
- 第11回（2月13日）
 テーマ：最終報告会
- 第12回（3月12日）
 テーマ：「イノベーション原論 経営戦略の要諦：事業の立地選択」
 講 師：三品 和広 氏（神戸大学大学院経営研究科教授）

令和3年3月31日

所報『産業経営研究』第40号発行

研究叢書 第58号『法人税における収益認識の研究』 岩武一郎 著 発行

最近5年間の調査・研究業績

＜調査研究報告（旧：産経研資料）＞

号数	テ　　マ	執　筆　者	発行年月
100	The Role of Linguistic Auditing and English as an International Language in the East Asian Tourist Industry —A Case Study of Kumamoto, Japan—	米　岡　ジュリ	H21. 3
101	熊本市中心市街地の形成と展開　—文化発信と商業集積の観点から—	幸　田　亮　一 宇　野　史　郎 吉　村　純　一 工　藤　栄一郎 堤　　　　豊	H22. 3
102	熊本県における一人当たり県民所得低迷の要因分析およびその克服	細　江　守　紀 金　　栄　緑 岡　村　　薫 平　松　　燈 宇野木　広　樹	H26. 3
103	熊本近代と富重利平のまなざし	磯　田　桂　史 工　藤　栄一郎 幸　田　亮　一 西　嶋　公　一 富士川　　裕	H28. 3
104	「熊本県中小企業家同友会　熊本地震復興実態調査」結果報告	吉　川　晃　史 堀　　越　昌　和	H31. 2

＜研究叢書＞

号数	テ　　マ	執　筆　者	発行年月
54	覇者・鴻海の経営と戦略	喬　　晋　　建	H28. 3
55	地域公共交通の活性化・再生と公共交通条例	香　川　正　俊	H29. 2
56	21世紀型新民富論　—包容巨視経済社会と多様性に向けて—	朴　　哲　　洙	H30. 3
57	戦後税制改革とシャウプ勧告—シャウプ税制施行70周年を顧みて—	山　下　壽　文	R 2. 3

<所報「産業経営研究」>

号数	テ　　マ	執　筆　者	発行年月
35	<ul style="list-style-type: none"> ・ノード機能喪失対策費用投入ゲームとネットワーク形成ゲームに関する一考察 ・公共交通の維持・利用促進に係る地方自治体の「基本条例」と各種政策 ・岩盤表面における自然放射線量の計測 ～高校生のフィールドワークでの活用事例～ ・希少糖産業クラスターと地域経済活性化 ・メタヒューリスティクスを用いた最適化による地域間産業連関表の推計 ・熊本県内図書館でのビジネス支援サービス展開における県立図書館の役割について <p>(研究ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベトナムにおける酒類産業と生活文化 	宇野木 広 樹 香 川 正 俊 新 村 太 郎 田 中 利 彦 平 松 燈 加 藤 康 彦 井 上 寛 規 山 田 美 幸 中 野 元 境 章 豊 田 謙 二	H28. 3
36	<ul style="list-style-type: none"> ・研究所近況 ・戦時総動員体制下の住宅供給 —太平洋戦争開戦期の住宅営団東京支所の資材問題を中心に— ・交通事業の安全性と規制緩和と政策～トラック事業を中心に～ ・文化資本と文化政策の経済学 (I) —経済と文化の融成と政策の公共・社会性— ・ラオスツーリズムの現状と課題 —2015年ラオスツーリズム統計年報からの考察— <p>(紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人の組織社会化に関する研究論文の概説 ・研究所近況 	小 野 浩 香 川 正 俊 朴 哲 洙 マング・マング・ルウィン 木 下 俊 和 井 上 奈美子 産業経営研究所	H29. 3
37	<ul style="list-style-type: none"> ・Artisoc[®]による都市道路ネットワーク形成メカニズム解明のためのシミュレータ開発 ・BOPビジネス理論の構築 ・産学官連携プラットフォームとロボット産業クラスター ・タイにおける酒類市場、社会的規制そして文化特性 ・最寄型小売業の業態革新と地域商業の変容に関する考察 —熊本市を事例に— ・研究所近況 	加 藤 康 彦 平 松 燈 井 上 寛 規 米 田 耕 士 喬 晋 建 田 中 利 彦 中 野 元 境 章 豊 田 謙 二 畠 山 直 出 家 健 治 産業経営研究所	H30. 3

号数	テ　　マ	執　筆　者	発行年月
38	<ul style="list-style-type: none"> • 1940年「新体制」下における木材統制機構の設計過程 • シャープの経営再建 • 阿蘇ブランド商品流通と観光マーケティング • 研究所近況 	小　野　　浩 喬　晋　建 吉　川　勝　広 産業経営研究所	H31. 3
39	<ul style="list-style-type: none"> • わが国の消費生活協同組合の会計規定 ―「一般に公正妥当と認められる会計慣行」をめぐる― • 高齢者雇用政策が高齢者の就労行動に与えた影響 ―シルバー人材センターの利用実態から― • 中小企業経営者教育による管理会計実践の促進 ―熊本同友会の経営指針を創る会の事例― • 中小企業における経営理念の定着とボトムアップ型経営の実現 • 研究所近況 	山　下　壽　文 岡　村　　薫 木　村　眞　実 吉　川　晃　史 吉　川　晃　史 産業経営研究所	R 2. 3

※所報の論文などについては、当研究所のサイト <http://www3.kumagaku.ac.jp/research/eb/> で公開します。

産業経営研究所研究員名簿 (五十音順)

2020年6月17日現在 69名

*は常任委員

所 長	小 葉 武 史 (マクロ経済政策)	研究員	田 中 利 彦 (計 量 経 済 学)
研究員	足 立 裕 介 (中 小 企 業 論)	〃	堤 豊 (情 報 処 理 論)
〃	飯 高 敏 和 (公開情報システム論)	〃	出 家 健 治 (商業論・地域流通論)
〃	池 上 恭 子 (経 営 財 務 論)	〃	土 井 文 博 (社 会 学)
〃	伊津野 範 博 (交通論・物流論)	〃	得 重 仁 (情報通信工学)
〃	井 上 弘 樹 (商 法 会 社 法)	〃	徳 永 彩 子 (秘書学・人的資源管理)
〃	今 村 寛 治 (労 務 管 理 論)	〃	豊 田 謙 二 (社会福祉原論)
〃	岩 武 一 郎 (租 税 法)	〃	中 井 雄 一 郎 (監査論・管理会計)
〃	大 山 佳 三 (公 共 経 済 論)	〃	中 地 重 晴 (環境マネジメント論)
〃 *	小笠原 亨 (管 理 会 計)	〃	長 友 敬 一 (倫 理 学 概 論)
〃	岡 村 薫 (経 済 政 策)	〃	中 野 元 (経 済 学)
〃	小 川 弘 和 (日 本 史)	〃	中 村 俊 也 (社会福祉援助技術論)
〃	加 藤 康 彦 (知的システム工学)	〃 *	浪 本 浩 志 (国 際 経 済 法)
〃	川 野 愛三郎 (日 本 経 営 史)	〃	成 宮 哲 也 (所 得 税 法)
〃	城 戸 善 和 (企 業 取 引 法)	〃	朴 哲 洙 (マクロ経済論)
〃	金 栄 緑 (国 際 貿 易 論)	〃	波 積 真 理 (市 場 調 査 論)
〃	喬 晋 建 (経 営 管 理 論)	〃	花 田 昌 宣 (社 会 政 策)
〃	慶 田 收 (ミクロ経済学)	〃	林 裕 (保 険 論)
〃	幸 田 亮 一 (経 営 史)	〃	藤 本 延 啓 (環 境 社 会 学)
〃	小 谷 学 (財 務 会 計 論)	〃	カーク・マスデン (日米比較文化論)
〃	境 章 (応用システム論)	〃 *	松 尾 健 治 (経 営 組 織 論)
〃	坂 上 紳 (環 境 経 済 学)	〃	宮 北 隆 志 (生 活 環 境 論)
〃	坂 上 智 哉 (マクロ経済学)	〃	村 松 茂 美 (社 会 思 想 史)
〃	酒 卷 政 章 (国 際 会 計 論)	〃	安 田 嘉 明 (金 融 論)
〃	坂 本 正 (金 融 論)	〃	山 内 良 一 (農 業 政 策)
〃	笹 山 茂 (マクロ経済学)	〃	山 口 泰 史 (地域経済学・人口地理学)
〃	佐 藤 信 彦 (会 計 学)	〃	山 下 壽 文 (財 務 会 計)
〃	嶋 理 人 (近代日本史・社会経済史)	〃	山 田 美 幸 (図 書 館 概 論)
〃 *	新 改 敬 英 (管理会計論・マネジメントコントロール)	〃	山 本 健 人 (財 務 会 計)
〃	新 村 太 郎 (情報ネットワーク論)	〃	吉 川 勝 広 (流通システム論)
〃	末 永 英 男 (税 務 会 計)	〃	吉 田 洋 一 (金融ファイナンス)
〃	角 田 幸 太 郎 (会 計 学)	〃	米 岡 ジュリ (英 語 学)
〃	高 木 亨 (人 文 地 理 学)	〃	米 川 清 (情報システム論)
〃	高 倉 統 一 (社会福祉法制)	〃	米 田 耕 士 (応用ミクロ経済学・労働経済学)
〃	高 林 秀 明 (地 域 福 祉 論)		

執筆者紹介

小 谷 学	熊 本 学 園 大 学 教 授
朴 哲 洙	熊 本 学 園 大 学 教 授
吉 川 晃 史	関 西 学 院 大 学 准 教 授
渡 邊 敬 二	B C P く ま も と 研 究 会
嶋 理 人	熊 本 学 園 大 学 講 師

令和3年3月31日発行

産業経営研究 第40号

編集代表者 小 葉 武 史

発 行 熊本学園大学附属産業経営研究所
〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号
電話 (096) 364-5161(代)
<http://www3.kumagaku.ac.jp/research/eb/>

印 刷 所 ホープ印刷株式会社
〒861-8007 熊本市北区龍田弓削1丁目4-12
電話 (096) 338-0500

STUDIES OF ECONOMICS AND BUSINESS (SANGYO KEIEI KENKYU)

No. 40

March, 2021

CONTENTS

Does Disclosure Reduce Insiders' Profits?	Manabu Kotani	1
The Structure of the Knowledge and Cultural Contents Industry: Theoretical Consideration on Production & Distribution Process	CheolSoo Park	15
A Study on Cultural Economic Policy and Social Value Finance —Toward the Framework for Knowledge Contents Commons—	CheolSoo Park	33
Trends in BCP Formulation after the Kumamoto Earthquake and How to Overcome the Challenges	Kohji Yoshikawa Keiji Watanabe	53
(Notes) Comparison of management performance of electricity supply industry around the time of Shouwa Depression —Examples of electric railway and electricity retailer in Kansai Region—	Rihito Shima	69
Institute Activities		83

Published by
THE INSTITUTE OF ECONOMICS AND BUSINESS
KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY
KUMAMOTO, JAPAN